



【左】ノーゴールに終わった原。しかしながら、積極的なプレーでゴールへの意欲は感じさせた【下】橋本はいつもの精彩を欠き後半20分で途中交代。何度か訪れたシュートチャンスも枠に飛ばすことが出来なかった。左は関大のエース前田



**原、18歳以下日本代表候補に選出**  
 7月4日に18日から新潟で行われる国際ユースサッカー大会に臨む18歳以下の日本代表候補37人が発表された。その中で駒大のFW原一樹が大学生として唯一選ばれた。原は初召集となる。このあと12日から選考を兼ねた合宿を行い、16日に大会メンバー18名が発表される。  
 候補はほかに、国見高校の長身FW平山相太や名古屋グランパスエイトのMF渡邊圭二、サンフレッチェ広島MF高萩洋次郎ら。

【下】関東選手権準決勝で負傷した鈴木はこの日、フェイスガードを装着してプレーした。その影響が、横からボールを入れられた時に中央のマークを見失う場面が何度か見られた

7月7日 11:30 高槻市萩谷総合公園サッカー場

駒大 1(0-0)0 関大  
 (関東4) (関西3)

得点者(アシスト)

【駒】61分:巻佑樹 1

KOMAZAWA	KANSAI
GK 牧野利昭(2)	GK41 清野 拓(4)
DF 小林 亮(3)	DF26 東 隆志(1)
DF 鈴木祐輔(3)	DF24 柳 大輔(3)
DF 桑原 靖(2)	DF29 西 孝幸(4)
DF 筑城和人(1)	(63分 山戸直樹(3))
MF 田中信成(4)	MF 緒方卓也(4)
MF 中田洋介(4)	MF 安藤 淳(1)
MF 橋本早十(4)	(68分 木本敬介(1))
(65分 栗原健次(3))	MF 生田隆司(3)
MF 中後雅喜(3)	MF 古橋勇希(2)
FW 原 一樹(1)	(45分 中務雅之(3))
(84分 関光博(3))	MF 八柄堅一(4)
FW 巻 佑樹(1)	FW 森本圭太(4)
S U B	FW 前田雅文(3)
GK21 蒲原隼一郎(3)	S U B
DF24 廣井友信(1)	GK21 池戸啓造(4)
MF 岩本哲也(3)	MF 宮津広記(3)
MF 永井健太(4)	FW 宮崎拓也(4)
FW 赤嶺真吾(2)	FW30 櫻田真平(1)
MANAGER 秋田浩一	MANAGER 川端秀和

警告(C)/退場(S)

【駒】17分:巻 佑樹 1(C)、36分:筑城和人 1(C)、77分:中田洋介 1(C)

【関】25分:東隆志(C)、42分:東隆志(CS)、89分:山戸直樹(C)

[シュート]16:11[枠内シュート]3:3

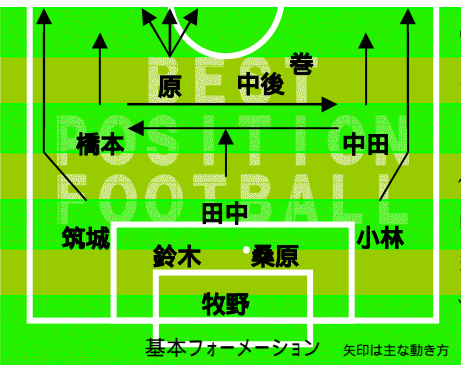
[決定機]9:4[GK]10:21[C K]4:5

[PK]10:0[直接FK]18:22[間接FK]5:0

[OS]15:0[主審]金子聡一郎[観衆]約200人

上記データは全て左側の数字が駒澤、枠内シュート、決定機は本誌記者による記録です

FORZA式ミニ知識  
**特別指定選手って？**  
 記事中で関大・前田が名古屋の特別指定選手であることを紹介したが、では特別指定選手とはなんだろうか？  
 簡単に言ってしまうと**高校、大学のチームに登録したままJリーグの試合に出場できる選手**のこと。これまでは高校生が対象であったが、単位制で練習に参加しやすい事、2年前のユニバーシアード北京大会における全日本大学選抜の優勝や、坪井(福岡大 浦和)のような大卒選手の活躍、そして近年再び大学サッカー界に優秀な人材が多く流出した背景などがあり、今年から大学生にも対象範囲が拡大した。  
 現時点で特別指定を受けている大学生は8人。早大の徳永(FC東京)や東洋大の高部(東京V)はすでにJリーグデビューを果たしている。駒大にはまだいない。



確認しておくが、駒大の最大の目標は「公式戦でプロチームに勝利すること」なのである。(熊崎 雅之)

葉通り、追加点をあげることなく試合終了の時を迎えた。  
 駒大にとって今大会の組み合わせは例年以上に厳しいものだ。それは選手も十分に自覚しており、次戦は関東選手権三位決定戦で破れた筑波大の先には要所にタレントをそろえる東学大と、関東勢との戦いが続く可能性もある。今日のような内容では、連覇は厳しいと言わざるを得ない。  
 「一試合も気を抜くことは出来ない。出足の早さであったり、頑張り気持ちであったり。駒大らしいサッカーというものを、もう一度みんなで確認したい」とキャプテンの中田。精神的にも肉体的にも、厳しく苦しい戦いになることは間違いない。しかしこの困難を乗り越えたとき、駒大サッカー部は一回りも二回りも成長するだろう。